

GYODA

1

Jan.2019

No.871

市報ぎょうだ CITY PUBLIC RELATIONS



年頭のごあいさつ

P.2

新春対談 監督 福澤克雄さん × 工藤正司市長

みんなをもっと元気にするために

P.3

平成31年 年頭のごあいさつ

行田市市長 工藤 正司

明けましておめでとございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新年を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

地域の活性化に向けて、国の承認もいただきながら進めている地方創生への取り組みにより、昨年、本市に新たな魅力が加わりました。それが、往時の佇まいそのままに水城公園に鮮やかに甦った「旧忍町信用組合店舗」であります。この事業も含め、足袋蔵の改修や歴史の街路の整備など、本市のまちづくりを視察された地方創生担当大臣からは、すばらしい先進事例だと大変高い評価をいただきました。今、子育て中のお母さん達がいきいきと活躍するカフェとしての利用もはじまっています。水城公園周辺には、その活用が長年の懸案であった市の遊休地に大型のホテルが進出し、観光や経済活動のための基盤も整いつつあります。今後も、さらなるにぎわいの創出に力を注いでまいります。

また、これまで人口減少対策の一環として進めてきた移住・定住の促進では、新たに、情報発信のためのプロモーション事業や移住・定住コンシェルジュの配置などを行うとともに、子ども医療費の無料化を18歳まで拡大するなど、子育て環境の充実を図りました。これにより、若い世代も含め、一人でも多くの方の移住・定住につなげてまいります。

産業面では、フランスのパリで開催された「ジャパン・エキスポ」に行田市として初めて参加し、行田の足袋を世界に向けてPRしたほか、埼玉県とともに進めている新たな産業団地の整備も、着実に進展しております。インバウンド観光への対応も見据えつつ、産業のいっそうの振興に取り組んでまいります。

今年、まもなく新元号が制定され、また、本市にとりましても市制施行70周年という記念すべき節目の年となります。人口減少の進行は、私達の生活に欠かせない水道事業にも変革を迫るなど、行政を運営していく上で、自治体間の広域連携も含め、さまざまな見直しを求める時代となってまいりました。今後とも私は、行田のあるべき未来をしっかりと見据え、全ての市民の皆様が将来に夢と希望が持てる「笑顔あふれる元気な行田」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。そして、70周年の節目を契機に、行田市のまちづくりを市民の皆様とともに、力強く、さらに前へと進めてまいります。どうか本年も、市政に対するご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、幸多きすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



監督 福澤克雄さん × 工藤正司市長

新春対談

みんなをもっと元気にするために

撮影地：株式会社イサミコーポレーション(TBSテレビ日曜劇場「下町ロケット」撮影セット内)

■ 演出家、映画監督として数々の感動的な作品を世に送り出す福澤克雄さん。一昨年、本市が舞台であり、大きな話題となったTBSテレビ日曜劇場ドラマ「陸王」(原作・池井戸潤著「陸王」集英社刊)の演出を務め、挑戦と努力の素晴らしさを伝えてくださいました。現在も、人気のドラマ「下町ロケット」などの制作に精力的に取り組んでいる福澤克雄さんに、ドラマ・映画制作への思いやこれからのまちづくりについて伺いました。

ドラマ「陸王」を振り返って

■ 工藤正司市長 (以下、工藤市長) 今日は、福澤さんとお話しできる機会を持って大変うれしく、光栄に思います。一昨年のドラマ「陸王」では、本市をロケ地として全国に発信していただき、本当にありがとうございました。感動的なシーンはもちろんのことですが、エキストラとして参加したたくさんの方や住み慣れたまちがテレビに映し出されることにも大変感激しました。放送によって行田市の知名度も飛躍的に向上し、まち全体が活気づきました。市民の皆さんも大変喜んでいました。

■ 福澤克雄さん (以下、福澤さん) こちらこそ、行田市の皆さんには心から感謝しています。ドラマの撮影では急を要することが多々あるのですが、そうした中でも皆さんが臨機応変に、しかも積極的に協力していただき、とても助かりまし

た。撮影で一番気を付けなければいけないのは、何より安全です。今回の撮影ではマラソンシーンが多かったのですが、人気俳優が走ると、その姿見たさに道路に人が出てしまい、車と接触する心配がありました。しかし、行田ロケでは行田警察署の協力や多くの関係者が交通整理に当たってくれたお陰でスムーズに撮影が進みました。私をはじめ撮影隊は、このように皆さんが撮影に全面的に協力してくれるまちを忘れません。ですから、多少時間がかかっても行田市に撮影に行こうと思えば、その結果、行田市で撮影したシーンが増えたのです。

■ 工藤市長 ドラマ「陸王」は、数々のシーンが市内で収録され、本当に幸運なことだったと感じています。再び、映画「七つの会議」やドラマ「下町ロケット」の続編でも市内ロケを行っていただきます。こんなにも早くお越しいただけたことを大変喜んでおります。ドラマ「陸王」による反響は想像以上でした。





ものづくりを取ったら国が成り立たないというのが私の持論です。そういう意味で、監督のお話にはとても共感できると思いました。

元氣な行田の実現に向けて

工藤市長 私のまちづくりの目標は「笑顔あふれる元氣な行田」の実現です。福澤さんは撮影で全国各地を訪れていらっ

もがへん入るの思い

工藤市長 福澤さんが演出家の道を志したきっかけは何ですか。

福澤さん 私は、福澤諭吉の玄孫として生まれ、慶應義塾幼稚舎（小学校）に入学しました。学校では、「好きでたまら

ない仕事を見つけない」と言われ、仕事につきプライドを持って生きていくことが人間にとっていかに大切か、そして、そのために勉強するのだと教わってききました。元々映画が好きで、中学2年生の時に見た映画に衝撃を受け、将来は映画監督になりたいと強く思いました。しかし当時の日本は、海外と違って映画監督になるために学ぶ環境は整っていませんでした。そのため私は、クラブ活動で入っていたラグビーに夢中になり、厳しい練習に打ち込み、高校では日本代表に選ばれるまでになりました。もちろん大学まで続けたラグビーの経験は、現在も役立っていると感じています。そして、大学卒業後に一度は映画と関係のない会社に入りました。しかし、映画監督にな

フィルムコミッションは以前からありましたが、名ばかりで稼働していない状態でした。ドラマ「陸王」の撮影を契機にフィルムコミッション自体もさまざまな経験を積むことができ、多種多様な撮影の要請にも協力できる体制が整いつつあります。協力してくれる市内の事業者も増えました。また、ドラマにゆかりのある場所をめぐる「聖地巡礼」の地として、本市を訪れるファンや観光客の方々が増え、本当にうれしく思います。監督の目に行田市はどのように映りましたか。

福澤さん 行田市は、絵になる場所が多いまちです。忍城址、水城公園、埼玉古墳群、そして昭和を感じることできるまち並みなどです。全国的に見ても行田市のような魅力的な場所は多くないと思います。また、広大な農地も素晴らしい資源です。世の中の変化の傾向として、人は古いものや広々とした田んぼの景色などに惹かれるようになってきています。東京近郊でこれだけの広さの田んぼの景色を見られる所は貴重だと言えます。



しゃいますが、その経験からさらにまちが元氣になるヒントを頂けないでしょうか。

福澤さん 今、どの地方の町も様子があまり変わり映えしないように思われます。そんな中でも観光客が訪れる場所の絶対条件を自分なりに考えると、やはり「食べ物」ですね。今からすごい施設を作ろうとお金ばかり掛かってしましますし、それがうまくいくかどうかも分かりません。でも、人が集まる場所には絶対においしい食べ物があります。そして、そこに来ないと食べられないことでさらに付加価値が高まるのです。この特産品は何かと考えることから始めてはどうでしょうか。できれば高価でないものが良いですね。また、ロケ地としての面を考えると、ドラマ「陸王」や映画「七つの会議」、そしてドラマ「下町ロケット」の続編と撮影させていたいただきましたが、こうしたことが何年間か続くと行田市がドラマや映画業界でも徐々に有名になってきます。その結果、多くの撮影が行われ、もっとたくさんの方が来るようになると思います。

工藤市長 まさに、ロケを通じた地方創生ですね。今日は福澤さんの活躍や作品への思いを伺って大変参考になりました。これからも、ぜひ、いろいろな形で行田市と関わっていただければ幸いです。最後に市民の皆さんにメッセージをお願いします。

りたいという思いを抱えながら過ごすうちに、先輩から、まずはテレビドラマをやってみたらいいと勧められたのを機にTBSテレビの採用試験を受け、現在に至っています。

工藤市長 福澤監督の作品づくりの根底にある考え方について教えてください。

福澤さん 役者の皆さんには、「面白い作品を作るのは当たり前だが、日本のものづくりを担う人たちが元氣になれるようなドラマを作りたい」と話しています。かつて小説家の山崎豊子さんに「日本を支えているのは、ものづくりの人たち。ものづくりの技術者たちが主役になれるようなドラマを作るべき」と言われ、いたく感銘をうけました。そんな折、池井戸潤さんの小説『下町ロケット』に出会ったのです。読み進めるうち、とても面白い上に大いに感動し、ものづくりに携わる人たちがメインになっていくドラマを作ろうという決心ができました。最近では、働く人たちが元氣にするためにこの仕事に就いたのかもしれないとさえ思っています。

工藤市長 私は、市職員時代に「ものづくり大学」の誘致に携わりました。もっと即戦力になるものづくりのエキスパートの養成が必要であるとの考えに基づいてこの大学誘致に取り組みしました。製造業をはじめ、ものを作ることは日本が生き残る上で非常に大事です。日本人から、



います。

福澤さん ドラマ「陸王」の撮影では、平日にもかかわらず3千人もの方に集まっていたとき、温かく迎えていただき

福澤さんのサイン色紙と「陸王」公式BOOKをセットにして5名様にプレゼント!

市内在住・在勤・在学の方を対象に、福澤さんの直筆サイン色紙と「陸王」公式BOOK明日も元氣に働こう! (集英社刊)をセットにして5人の方にプレゼントします。



《応募方法》
住所、氏名、電話番号、市外在住の方は勤務先または学校名、「新春対談」の感想を明記の上、1月31日(木)までにはがきまたはEメールでご応募ください。※1人につき1通のみ【はがき】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市広報広聴課「新春対談プレゼント」係【Eメール】kohopresent@city.gyoda.lg.jp なお、発表は発送をもってかえさせていただきます。

ました。朝から時には深夜までずっとお付き合いいただけたことに本当に感謝しています。今後、インターネット配信のドラマが増加し、国内外の枠が外れて日本のドラマが海外でもたくさん見られるようになりたいです。そうなる、もっとドラマの撮影は増加していくと思います。今後の作品も、ぜひ行田市で撮影したいと思っていますので、これからもよろしくお願ひします。

工藤市長 これからも福澤さんが日本を代表する監督として活躍されることを祈念いたしております。私も、引き続き福澤さんをはじめ、多くの方々に撮影に来ていただけるようロケ地としての環境を整えてまいります。そして、映像作品を通じて行田市の魅力発信で、まちを元氣にしていきたいと思ひます。本日は本当にありがとうございました。

Profile プロフィール

お 福澤 克 雄

1964年東京都生まれ。慶應義塾大学卒。関東代表、学生日本代表、日本代表Aにも選出された元ラグビー選手。株式会社TBSテレビ入社後、『3年B組金八先生』『華麗なる一族』『半沢直樹』『下町ロケット』など、数多くのTVドラマの演出を手掛け、『私は貝になりたい』『七つの会議(2019年2月公開予定)』などの映画で監督を務める。文化庁芸術祭大賞他、受賞多数。



お知らせとお願い

- 医療費控除や事業・農業所得などを申告する方は、金額や収支の内訳などの集計を事前に済ませた上でお越しください。
- 「市民税・県民税申告書」が必要な方は郵送しますのでご連絡ください（申告会場にも申告書を用意しています）
- 市民税・県民税において、次のような制度は原則として期限後の申告では適用が認められません。所得税の確定申告、市民税・県民税の申告のいずれかに必要事項を明記の上、必ず期限内に提出してください。

- ・住宅借入金等特別税額控除（年末調整で適用を受けている場合は申告不要）
- ・上場株式などの配当、源泉徴収選択口座内の株式などの譲渡所得を申告するかどうかの選択
- ・白色申告者に事業専従者がいる場合の控除
- ・損失額の繰り越しや、前年以前から繰り越した損失額の控除など

医療費控除を受ける方へ

医療費控除を受けるためには、「医療費控除の明細書」が必要です。なお、内容に応じておむつ使用証明書や在宅介護費用証明書などが必要となる場合があります。

また、健康の保持増進および疾病の予防として一定の取り組みを行う方が、特定一般用医薬品等購入費（※）を支払った場合は、通常の医療費控除との選択により、セルフメディケーション税制による医療費控除の特例の適用を受けることができます。この特例の適用を受ける方は、①「セルフメディケーション税制の明細書」の提出および②適用を受ける年分において一定の取り組みを行ったことを明らかにする書類の提出または提示が必要となります。市や税務署から内容の確認を求める場合がありますので、領収書は5年間保存する必要があります。

※特定一般用医薬品等購入費とは、医師によって処方される医薬品（医療用医薬品）から薬局などで購入できるOTC医薬品に転用された医薬品（スイッチOTC医薬品）の購入費をいいます。

集計は必ず事前に

相談時間や待ち時間の短縮のため、必ず事前にご自身で集計してください。

①30年中に支払った医療費の控除を受ける方

医療を受けた人、病院ごと、診療の内容ごとに集計を行ってください。また、セルフメディケーション税制の特例の適用を受ける場合は、支払った医療費のうち、スイッチOTC医薬品の購入費を明確に区分してください。

②営業、農業、不動産収入がある方

平成30年中の収入、経費について、帳簿や領収書をもとに集計を行ってください。具体的には、水道代、光熱費、交通費、（農業の場合は種苗代、肥料代、農薬代）など項目ごとに集計してください。

※集計がされていない場合は申告相談を受けることができません。必ず事前の準備をした上で会場にお越しください。

▶市民税・県民税の申告についての問い合わせ

税務課市民税担当（内線231・232）

▶所得税の確定申告についての問い合わせ

行田税務署 ☎556—2121

平成31年度 市民税・県民税、所得税

申告相談

申告期間は
2月5日(火)から
3月15日(金)まで

市民税・県民税の申告は、前年1年間の所得に対する税額を適正に算出するための課税資料として、申告書の提出をしていただくものです。また、所得税の確定申告も一部、併せて受け付けしますので（「受け付けできない申告」参照）、日程および会場を確認の上、ご利用ください。

市民税・県民税の申告が必要な方

平成31年1月1日現在、本市にお住まいで前年中に所得があった方は、原則申告が必要です。ただし、次の方は申告不要です。

- ①所得税の確定申告をする方
- ②給与所得者で勤務先から市に給与支払報告書が提出され、その給与所得以外に所得がない方
- ③合計所得金額が28万円以下の方
※公的年金収入のみの場合、公的年金収入が98万円以下（65歳以上の場合、148万円以下）で他に所得がない方は合計所得28万円以下の方に該当します。

※所得のない方や公的年金収入のみ以外の③に該当する方でも、税務関係証明書が必要となる場合や国民健康保険税、後期高齢者医療保険料の軽減を受ける場合には、申告をする必要があります。

受け付けできない申告

消費税や贈与税に関する申告の他、所得税の確定申告のうち次のようなものは、市の申告相談ではお受けできませんので、行田税務署にご相談ください。

- ・株式や土地の譲渡に関する申告
- ・繰越損失の申告
- ・青色申告
- ・先物取引に関する申告
- ・過年度（平成29年分以前）の申告
- ・亡くなった方、外国人の方の申告
- ・住宅ローン控除のうち認定長期優良住宅、増改築等に関するもの

平成31年度 市民税・県民税申告相談開催日程

【受付時間：午前9時30分～午後4時】

期 日	曜 日	会 場	地 区	混雑予想
2月5日	火	太井公民館	西新町、杵里山町、清水町	混雑 ■■■■□
6日	水		門井町1・2・3丁目、棚田町1・2・3丁目、押上町、深水町	大混雑 ■■■■■
7日	木	持田公民館	持田1・2・3丁目	混雑 ■■■■□
8日	金		持田4・5丁目、大字持田、前谷、駒形1・2丁目	混雑 ■■■■□
13日	水	中央公民館 (みらい) 第1学習室	大字佐間、佐間1・2・3丁目	大混雑 ■■■■■
14日	木		旭町、向町、緑町、下忍、堤根、樋上	やや混み ■■■■□
15日	金		埼玉	やや混み ■■■■□
17日	日		全地区	大混雑 ■■■■■
18日	月		野、渡柳、利田	大混雑 ■■■■■
19日	火		谷郷1・2・3丁目	混雑 ■■■■□
20日	水		総合体育館 (グリーンアリーナ) 2階 研修室	大字谷郷、栄町、斎条、和田
21日	木	総合福祉会館 (やすらぎの里) 第3研修室	上池守、下池守、皿尾、中里、小敷田、白川戸	混雑 ■■■■□
22日	金		荒木、小見	混雑 ■■■■□
26日	火	総合福祉会館 (やすらぎの里) 第3研修室	須加、下中条	混雑 ■■■■□
27日	水		北河原	混雑 ■■■■□
28日	木		酒巻、犬塚、馬見塚	やや空き ■■■■□
3月1日	金	長野公民館	中江袋、南河原	やや混み ■■■■□
4日	月		桜町1・2・3丁目、富士見町1・2丁目	混雑 ■■■■□
5日	火		大字長野、長野1・2・3・4・5丁目	混雑 ■■■■□
7日	木		藤原町1・2・3丁目、若小玉、藤間、関根	混雑 ■■■■□
8日	金		下須戸、小針、真名板	混雑 ■■■■□
12日	火	商工センター	大字忍、忍1・2丁目、本丸	大混雑 ■■■■■
13日	水		矢場1・2丁目、行田、宮本、中央	混雑 ■■■■□
14日	木		城西1・2・3丁目	混雑 ■■■■□
15日	金		城西4・5丁目、天満、城南	混雑 ■■■■□

申告相談にお持ちいただくもの

- ・印鑑
- ・平成30年1月から12月までの収支計算の分かる書類
- ・会社などにお勤めの方または公的年金などを受給されている方は、源泉徴収票（原本）
- ・社会保険料、生命保険料、個人年金保険料、介護医療保険料、地震保険料、国民年金保険料、国民健康保険税、介護保険料などの払込証明書
- ・医療費控除を受ける方は医療費控除の明細書、寄付金控除を受ける方は領収書など、その他必要な控除証明
- ・マイナンバーカード（個人番号カード）または通知カードおよび運転免許証などの身分証明書
- ・控除対象配偶者および扶養親族の方のマイナンバーカードまたは通知カードなど個人番号の確認ができるもの
- ・所得税の還付がある場合、申告者の口座番号が分かるもの

ご注意ください

- ・表中の対象地区はあくまでも参考です。いずれの会場でも、対象地区以外の方の申告相談も受け付けています。
- ・市役所税務課窓口での申告相談は行っていません。
- ・申告内容によっては、税務署に相談していただく場合があります。

平成30年分の所得税および消費税の確定申告

行田税務署では、平成30年分の所得税等の確定申告の相談および申告書の受け付けを2月18日(月)から3月15日(金)まで、消費税等は4月1日(月)まで行います。

申告書の作成には時間を要しますので、お早めにお越しください。会場の混雑状況により、受け付けを早めに締め切ることがあります。

配偶者控除・配偶者特別控除の改正

平成30年分の確定申告から次のとおり改正されます。

配偶者控除

申告者本人の合計所得金額が1千万円超える場合、配偶者控除を受けられないことになりました。また、控除額について、改正前は一律38万円とされていましたが、改正後は、申告者本人の合計所得金額によっても控除額が異なることとなりました。

配偶者特別控除

配偶者特別控除の対象となる配偶者の合計所得金額が38万円超123万円以下とされ、申告者本人の合計所得金額によっても控除額が異なることとなりました。なお、申告者本人の合計所得金額が1千万円を超える場合は、配偶者特別控除の適用はありません。

▶問い合わせ 行田税務署 ☎556—2121

軽自動車やバイクなどの廃車・変更の届け出をお忘れなく

軽自動車・バイクなどにかかる税金は、毎年4月1日現在の所有者（登録名義人）に課税されます。次のようなときは、必ず届け出をしてください。

- 売買や譲渡により所有者が変わった
- 行田市を転出した
- 車両を入れ替えた
- 車両を廃棄した
- 所有者が死亡した
- 車両を盗まれてしまい今は所有していない

車種	届け出に必要なもの	届け出・問い合わせ
原動機付自転車(125cc以下のもの)	名義変更 → 新名義人の印鑑(朱肉を使用するもの。認印可) 標識交付証明書 譲渡証明書	税務課市民税担当(内線235)
行田市・南河原村 ナンバーの車両	廃車 → ナンバープレート 名義人の印鑑(朱肉を使用するもの。認印可) 標識交付証明書	
小型特殊自動車(農耕用トラクターなど)	①検査登録事務所には 廃車 → ナンバープレート ※必要書類は検査登録事務所へ問い合わせください。 ②市役所には 名義変更 → 登録事項等証明書 譲渡証明書 新名義人の印鑑(朱肉を使用するもの。認印可) 廃車 → 登録事項等証明書 名義人の印鑑(朱肉を使用するもの。認印可)	※検査登録事務所と税務課の両方へ届け出が必要です。 ①関東運輸局熊谷自動車検査登録事務所 ☎050-5540-2027 ②税務課市民税担当(内線235)
その他の二輪車(125ccを超えるもの)	名義変更 廃車 住所変更	関東運輸局熊谷自動車検査登録事務所 ☎050-5540-2027 軽自動車検査協会埼玉事務所熊谷支所 ☎050-3816-3112
軽自動車(三・四輪車)		

▶問い合わせ 同課市民税担当(内線235)

乗用農機具(コンバイン・田植え機・トラクターなど)のナンバー登録はお済みですか

軽自動車税は公道を走るか走らないかにかかわらず、対象となる車両を所有していることで課税されます。乗用農機具(大型特殊自動車に分類されるものを除く)をお持ちの場合は、課税客体としての登録が必要です。

購入時には必ず税務課へ届け出の上、ナンバーを取得してください。また、車両を入れ替えた場合も届け出が必要となります。なお、すでに対象となる乗用農機具をお持ちでナンバーを取得していないものがありましたら、ご連絡ください。

▶問い合わせ 同課市民税担当(内線235)

第41回事業所人権教育研修会

- ▼日時 1月24日(木)午後2時～3時30分
- ▼場所 中央公民館第1学習室
- ▼内容 富岡智子さん(さいたま地方法務局熊谷支局総務課長)による講演「企業と人権」～職場からつくる人権尊重社会～
- ▼対象 市内の事業主および人事担当の方
- ▼定員 60人(先着順)
- ▼参加費 無料
- ▼申し込み・問い合わせ 人権推進課人権同対策担当(内線221)

明るい選挙啓発ポスター入選作品を紹介します

行田市明るい選挙推進協議会と行田市選挙管理委員会が主催する「明るい選挙啓発ポスターコンクール」に、小学生の部148点、中学生の部73点、合計221点の応募がありました。審査の結果、小学生の部5点、中学生の部2点、合計7点が入選(金賞)作品として選ばれました。なお、入選作品は次のとおりです。

ポスター展示会

- ▶期間 1月23日(水)～2月1日(金)※月曜日は休館
- ▶場所 「みらい」談話コーナー
- ▶その他 2月1日は午前だけの展示となります。

小学生の部



東小学校3年
土井 蒼来さん



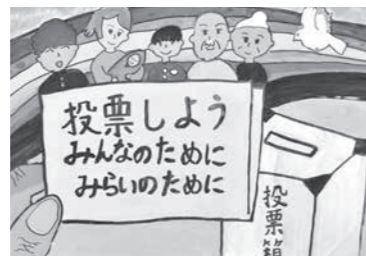
南小学校6年
加相 日々季さん



南小学校6年
横田 朱音さん



南小学校6年
吉田 彩季さん



太田西小学校6年
金子 由奈さん

▶問い合わせ 選挙管理委員会(内線219)

中学生の部



南河原中学校3年
大山 涼葉さん



南河原中学校3年
森田 琉那さん

- 国税庁と全国納税貯蓄組合共催の中学生の「税についての作文」募集に、行田税務署管内の中学生から5千189編もの応募がありました。市内からは次の生徒の皆さんが入賞しましたので紹介します。
- 埼玉県納税貯蓄組合総連合会長賞**
「介護保険」で笑顔を取り戻した祖母
長野中学校3年 浦邊 有里菜
- 埼玉県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞**
「女性の社会進出」
西中学校3年 アピッチ 輝
- 「税金は笑顔の始まり」
長野中学校1年 根岸 知弘
- 埼玉県租税教育推進協議会会長賞**
「税のありがたさ」
西中学校3年 若林 美波
- 行田税務署長賞**
「税の恩恵」
埼玉中学校1年 大野 茉莉花
- 埼玉県行田県税事務所長賞**
「税の良いこと」
西中学校3年 奈良 百音花
- 行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞**
「税の大切さ」
行田中学校3年 権田 咲良
- 「税金はなくてはならないもの」
見沼中学校1年 須永 もも香
- 「身近に感じた税金」
埼玉中学校1年 長沢 ひなた
- 行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞**
「税金のありがたさ」
長野中学校3年 今井 聖人
- 「ラジオ体操を通して」
長野中学校3年 根岸 勇気
- 「税金について」
西中学校3年 細谷 美羽
- 行田税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞** 入選
「少子高齢化時代の医療費を考える」
忍中学校3年 粕谷 俊介
- 「税金が人を助ける」
行田中学校3年 塩田 美玖
- 「暮らしの味方税金」
太田中学校2年 賀澤 直子
- 「税金の大切さ」
南河原中学校1年 望月 心菜
- ▼問い合わせ 行田税務署 ☎556-2121 (自動音声案内2番を選択)

平成30年度中学生の「税についての作文」

入賞者

ふるさと創生クラブの活動が 文部科学大臣表彰を受けました



工藤市長に受賞を報告する今村代表(中央)と滝口副代表(左)

西小学校を拠点に活動しているNPO法人ふるさと創生クラブ(今村武蔵代表)の「地域学校協働活動」が、特色ある優れたものとして認められ、このたび文部科学大臣表彰を受けました。

地域学校協働活動とは、地域住民らの参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動のことです。

同クラブは、校内に活動拠点を設け、毎日の児童の登下校の見守りや見送り、ピオトープ観察やまち探検などの学習支援、昔の遊びなどを教える「ふるさと子ども教室」、放課後の居場所づくりのための「放課後子ども教室(わくわくクラブ)」など、多岐にわたる活動を実施しています。また、平成16年から約15年間継続して子供たちの安全や健全育成に寄与し、保護者や先生方からの信頼も厚く、「学校・家庭・地域」が連携・協働した活動に力を注ぎました。

これらのことが評価され、今回の表彰を受けたものです。12月3日に文部科学省で行われた授賞式に出席した今村さんは、「15年間子供たちのために取り組んできました。これからもまだまだ頑張りたいですね」と今後の抱負を語っていました。

▶問い合わせ ひとつくり支援課生涯学習担当 ☎ 556-8319

上級救命講習会

- ▶日時 2月23日(土)午前8時45分～午後5時30分
- ▶場所 消防本部第3会議室
- ▶内容 心肺蘇生法(成人・小児・乳児)、異物除去法、AEDの取り扱い方法、傷病者管理法、外傷の手当て要領などを取り入れた上級救命講習(8時間)
- ▶定員 20人(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶その他 昼食は各自で用意
- ▶申し込み・問い合わせ 1月19日(土)午前10時から直接または電話で消防署救急担当 ☎ 550-2123

市内循環バスの有料広告を 募集しています

市では、市内循環バスの車内、車外および車内放送広告を募集しています。企業、事業所、自営業を営む皆さん、年間約24万人が利用する市内循環バスに、広告を掲載してみませんか。

▶規格

【車内広告】縦297mm×横420mm(A3サイズ)の紙に印刷または描写したもの

【車外広告】縦594mm×横841mm(A1サイズ)のラッピングフィルムなどの剥離可能な屋外用シールに広告デザインを施したもの

【車内広告放送】広告主が指定する停留所1カ所で、バスの通過1回につき、30字以内で放送するもの

▶広告掲出料

【車内広告】1枚月1,000円

【車外広告】1枚の面積0.5平方メートルあたり月6,000円(100円未満切り上げ)

【車内広告放送】停留所1カ所でバス通過ごとに1回の放送で月1,000円

▶その他

- ・掲載できる広告は、公共性および公益性を損なわないものとします。
- ・広告の制作費は広告主の負担となります。
- ・掲載するスペースには限りがありますので、路線・スペースなどは、事前にご相談ください。

▶問い合わせ 地域づくり支援課くらし安心担当(内線252)

ご存じですか 本人通知制度

本人通知制度とは、代理人や第三者の請求により住民票の写しなどを交付したとき、事前に登録した本人にその事実を通知するものです。この制度により、住民票の写しなどの不正取得の早期発見や抑制につながることを期待されます。

なお、登録有効期限はありませんが、住所・氏名・本籍などに変更があった時には14日以内に変更届出書を提出してください。提出がない場合には登録廃止となります。

▶対象 本市の住民基本台帳または戸籍簿に記録のある方

▶登録方法 本人確認書類(運転免許証など)を持参の上、市民課で申請してください。

▶通知内容 代理人や第三者に交付した年月日、証明書の種別および通数、交付請求者の種別

▶注意 通知の対象となるものは、代理人請求や第三者請求ですが、請求理由や請求先によっては、通知しない場合があります。

▶問い合わせ 同課市民担当(内線242)

今年各種選挙が執行されます 引っ越しをしたら住民票を移しましょう

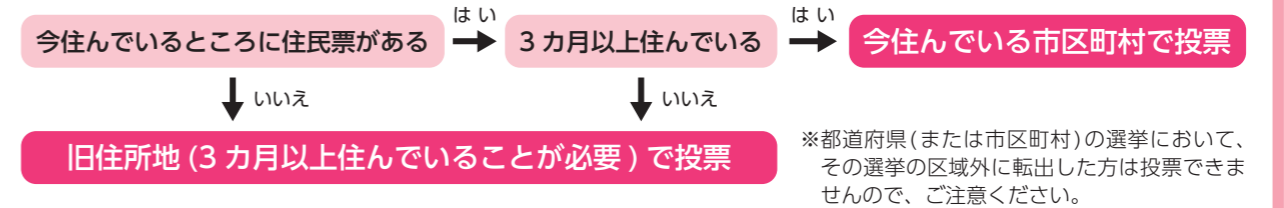


平成31年は、統一地方選挙や参議院議員通常選挙、埼玉県知事選挙が予定されています。

選挙で投票するには、選挙権を有しているだけでなく、選挙人名簿に登録されている必要があります。また、選挙人名簿への登録は、住民票がある市区町村で行われます。進学や就職などで引っ越しをされた方は、引っ越し先の市区町村へ住民票を移しましょう。

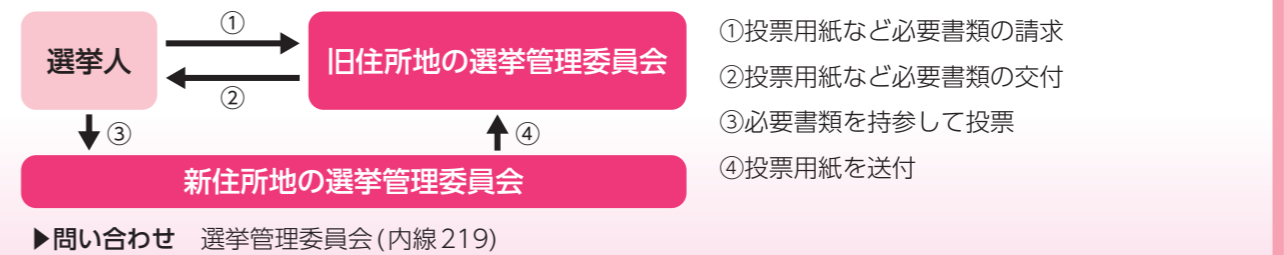
引っ越しをしたらどこで投票できるの?

選挙人名簿に登録されるためには、引き続き3カ月以上その市区町村の住民基本台帳登録されていることが必要です。住民票を移してから3カ月未満の場合は、旧住所地(引っ越しをする前の市区町村)で投票することになります。



旧住所地(名簿登録地)に行けない場合はどうするの?

旧住所地まで投票に行くことができないときには、以下の手続きにより不在者投票をすることができます。



日本遺産/足袋蔵コーディネーター養成講座 第7回～第9回を開講します

行田市日本遺産推進協議会では、本市の日本遺産ストーリーやその構成資産である足袋蔵などのPRにご協力いただけるボランティアの方を広く募集しています。この「日本遺産/足袋蔵コーディネーター養成講座」の受講後、来年度以降に具体的な活動を行っていただく予定です。なお、初めての方でも受講可能です。

▶期日・場所・内容

回	期日	場所	内容
7	1月18日(金)	足袋蔵まちづくりミュージアム(行田5-15)	宮本伸子さん(ものづくり大学)による講義「足袋蔵の活用を考えよう1・2」
8	2月8日(金)		中島洋一(文化財保護課)による講義「日本遺産・足袋蔵の魅力を発信しよう」
9	2月15日(金)		



▶時間 午後1時30分～4時30分

▶対象 18歳以上の方で3回通して受講できる方

▶参加費 無料

▶持ち物 筆記用具

▶主催 行田市日本遺産推進協議会

▶申し込み・問い合わせ 1月17日(木)までに電話または住所・氏名・性別・年齢を明記の上、FAXもしくはEメールで文化財保護課 ☎ 553-3581 【FAX】556-0770 【Eメール】bunka@city.gyoda.lg.jp

自主防災セミナー

「どうするトイレ問題!～災害時のトイレ問題と対策～」

- ▶日時 2月13日(水)午前10時30分～正午
- ▶場所 「みらい」文化ホール
- ▶内容 男女共同参画の視点から災害時の最大課題といわれるトイレについて考えます。NPO法人日本トイレ研究所の講師が、「被災地のトイレ事情」「トイレ問題と健康の関係」「自宅でのトイレの備え方」などを詳しくお伝えします。
- ▶定員 250人
- ▶その他
 - ・ひととき保育の申し込み(2歳以上の未就学児)は1月18日(金)まで
 - ・このセミナーは、行田市自主防災組織リーダー養成講習会を兼ねています。
- ▶問い合わせ VIVA ぎょうだ ☎ 556-9301

認知症サポーター養成講座

- ▶日時 ①1月22日(火)②2月26日(火)③3月26日(水) どれも午後1時30分～3時
- ▶場所 ①南河原隣保館②地域文化センター③古代蓮会館
- ▶内容 認知症についての基本的な知識、認知症の方への適切な対応方法、相談機関などを学ぶ
- ▶対象 市内在住・在勤・在学の方
- ▶定員 各回20人(先着順)
- ▶受講料 無料
- ▶持ち物 筆記用具
- ▶その他 受講終了後にはサポーターの証として、「オレンジリング」と「埼玉県認知症サポーター証」をお渡しします。
- ▶申し込み・問い合わせ ①は1月4日(金)から、②は2月1日(金)から、③は3月1日(金)から直接または電話で地域包括支援センター緑風苑(須加1529) ☎ 557-3611(月～金曜日)

認知症サポーターフォローアップ研修

- ▶日時 2月13日(水)午後2時～3時30分
- ▶場所 VIVA ぎょうだ学習室
- ▶対象 認知症サポーター養成講座を受講したことのある方
- ▶定員 20人(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶持ち物 筆記用具
- ▶申し込み・問い合わせ 直接または電話で地域包括支援センター緑風苑

- ▶記事に関する問い合わせ 高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線278)

民生委員・児童委員の西山カツ枝さんが 埼玉県知事表彰を受賞しました



埼玉県知事表彰を受賞した西山カツ枝さん

11月14日に開催された「県民の日記念式典」において、民生委員・児童委員の西山カツ枝さん(長野)が、埼玉県表彰規則に基づく、社会福祉功労者として上田県知事から表彰されました。

この表彰は、県民の模範となるべき功績のあった個人や団体をたたえるもので、西山さんは、長年にわたり民生委員・児童委員として熱意をもって地域福祉活動に取り組み、社会福祉の増進に貢献してきたことが高く評価されたものです。

- ▶問い合わせ 福祉課トータルサポート推進担当(内線267・285)

男の料理塾

～魚をさばける男になろう!～

- ▶日時 2月9日(土)午後2時～4時30分
- ▶場所 VIVA ぎょうだ調理室
- ▶内容 スルメイカの皮剥ぎやイワシを手でさばくといった調理方法を学びます。
- ▶メニュー スルメイカの刺身、ゲソの酢味噌あえ、イワシのかば焼き
- ▶講師 島村州永さん(割烹主 魚けん・料理長)
- ▶定員 20人(先着順)
- ▶参加費 1,000円
- ▶持ち物 エプロン、タオル、包丁、三角巾またはバンダナ、スリッパ
- ▶申し込み 1月16日(水)～2月8日(金)に直接または電話で VIVA ぎょうだ(月曜日は休館) ※ひととき保育の申し込み(2歳以上の未就学児)は1月22日(火)まで
- ▶問い合わせ VIVA ぎょうだ ☎ 556-9301

市制施行70周年記念市民提案実施事業を募集します

本市は、昭和24年5月の市制施行から、今年で70周年を迎えます。そのため、この記念すべき節目の年を市民の皆さんと祝いながら、今までの足跡を振り返るとともに、未来へとつなげる礎にしたいと考えています。

そこで、市民の皆さんが企画・提案し、自ら実施する記念事業を募集します。頂いた提案は、市制施行70周年記念事業検討委員会で審査を行い、採択となった案件については、その事業費を補助します。

- ▶応募要件 市民の皆さんが企画・実施する事業で、平成31年4月以降に着手し、翌年3月までに完了するもの
- ▶応募資格 市内在住・在勤・在学の方。またはこれらの方が代表を務める団体やグループ
- ▶応募方法 2月28日(木)(必着)までに事業の名称、事業の目的と概要(内容)、収支予算案、応募者の住所・氏名・年齢・性別・電話番号(団体やグループの場合は構成員全員分)を明記の上(全て様式自由)、持参または郵送により提出してください。【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市企画政策課
- ▶補助金額・対象 上限100万円とし、提案の内容により、予算の範囲内で補助します。ただし、食事代や飲料代、その他70周年記念事業の趣旨にそぐわない費用は対象となりません。
- ▶審査方法 各団体の代表や、市の関係課で組織する市制施行70周年記念事業検討委員会が、次の3つの視点に基づき審査を行い、採用の有無や補助金額を決定します。
 - ①市民がふれあい、一体感を深められるもの
 - ②まちの活性化につながるもの
 - ③市民の思い出に残るもの
- ▶その他
 - ・頂いた提案に対する採択の可否は、3月末ごろにお知らせする予定です。
 - ・採択が決定した場合は、4月以降に補助金の申請手続きをしていただきます。この申請手続き前に事業に着手した場合は、補助金を交付できませんのでご注意ください。
- ▶問い合わせ 市制施行70周年記念事業実行委員会事務局(企画政策課内 内線311・309)

訴訟最終通知書による詐欺にご注意ください

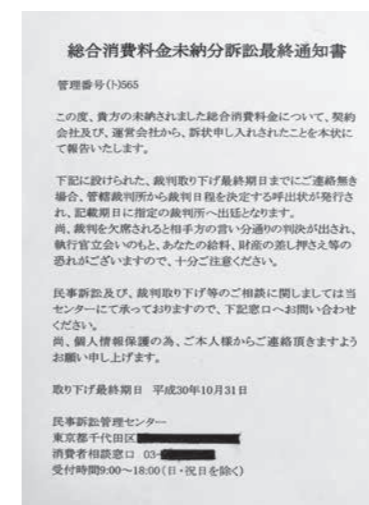
市内で、下のはがきのような「民事訴訟管理センター」や「国民訴訟お客様管理センター」などの実在しない機関をかたるはがきや封書による詐欺が多発しています。

このようなはがきが届いた際には、絶対に電話をしないでください。言葉巧みにお金を要求してきます。

はがきには、「民事訴訟」「裁判」「差し押さえ」「最終告知」など不安をあおる言葉が記載されています

が、慌てずに防災安全課、行田市消費生活センターまたは行田警察署 ☎ 553-0110までご連絡ください。

- ▶問い合わせ 同課防犯対策担当(内線284) または行田市消費生活センター(内線495)



総合消費料金未納分訴訟最終通知書

管理番号(1)365

この度、貴方の未納された総合消費料金について、契約会社及び、運営会社から、訴状申し入れされたことを本状にて報告いたします。

下記に設けられた、裁判取り下げ最終期日までご連絡無き場合、管轄裁判所から裁判日程を決定する呼出状が発行され、記載期日に指定の裁判所へ出廷となります。尚、裁判を欠席されると相手方の言い分通りの判決が出され、執行官立会いのもと、あなたの給料、財産の差し押さえ等の恐れがございますので、十分ご注意ください。

民事訴訟及び、裁判取り下げ等のご相談に關しましては当センターにて承っておりますので、下記窓口へお問い合わせください。尚、個人情報保護の為、ご本人様からご連絡頂きますようお願い申し上げます。

取り下げ最終期日 平成30年10月31日

民事訴訟管理センター
東京都千代田区
消費者相談窓口 03-
受付時間9:00～18:00(日・祝日を除く)

実際に送られたはがき

長野県山ノ内町と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました



協定を締結した工藤市長と竹節義孝山ノ内町長(右)

12月13日、長野県山ノ内町と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

この協定は、本市または山ノ内町で災害が発生した場合に、資機材・物資の提供、被災者の一時受け入れなどについて相互に応援協力することを目的としたものです。

これにより、本市が締結した県外の市町村数は、7市町となりました。なお、県内においては全ての市町村と協定を締結しています。

- ▶問い合わせ 防災安全課防災担当(内線282)

平成31年行田市新成人を祝う会実行委員会 ハタチの抱負

1月13日(日)、「みらい」文化ホールで平成31年行田市新成人を祝う会が開催されます。ここでは、この式典の企画を行ってきた実行委員長に二十歳を迎えた心境や抱負などを語っていただきます。

「大人への第1歩」

成人になるって、どういうことだろう。人に頼らず自立すること。規則規律がきちんと身に付くこと。それともお酒が飲めるようになることでしょうか。私は「一歩踏み出せる人になること」だと思います。しかし、私は成人の日を迎えるというのに、全く実現できていません。目の前で何か事が起きたときに、ふと考えてしまいます。「誰か他の人がやってくれるかもしれない。自分が何もしなくてもなんとかなる」と。そんな自分を少しづつ変えていきたいと思っています。もちろん考えることも大事ですが、行動に移さなければ何も始まりません。だから私は、瞬間的な善悪の判断、そして行動



実行委員長
金子 藍さん
(埼玉中学校出身)

に伴う責任も鑑みたく、自分が良いと思ったことを実行できるすてきな大人になりたいです。
「僕子どもだから全然分らないや」
もう私たちは、コナン君のようなセリフも言えなくなってしまうました。私たちの時間は少しずつ過ぎ、早いもので20年も経ってしまったのです。振り返ってみると、実に有意義な経験をさせてもらいました。しかし、世の中には私の知らない世界がたくさんあります。だから私は、これからもいろいろなことにチャレンジし、見聞を広めていきたいと思っています。その中には、苦手なことも出てくるでしょう。しかし、全部自分のためだと、前向きに捉えることで自分の成長の糧にしていきたいです。

さまざまな人たちの支えがあって、今の私があります。これからも感謝の気持ちを忘れずに、成人式という素晴らしい節目を迎えるに当たって抱いた気持ちを大切にしながら、日々の生活を過ごしていきたいと思っています。

▼問い合わせ ひとつくり支援課生涯学習担当 ☎556-8319

い活用ください

入学準備金貸付制度

市では、高校・大学などへ入学を希望する方の保護者に対して、経済的負担の軽減を図るため、入学準備金の貸し付けを行っています。

▼申請期間 2月1日(金)～20日(水)

貸付金額

- ①大学、短大および専門課程を置く専修学校の場合…30万円
- ②高校、高専および高等課程を置く専修学校の場合…20万円

▼対象 市内に6カ月以上居住し、市税を完納している方

申請時に添付する書類

- ・在学または出身学校長が大学・高校などの長に提出する調査書の写し
- ・家庭調書
- ・住民票の写し(世帯全員)
- ・承諾書

貸し付け決定後に提出する書類

- ・借付書※連帯保証人が必要です。
- ・入学許可書または合格通知書

▼返還方法 3カ月を据え置き、①は50カ月以内、②は35カ月以内で毎月の分割払い

▼申し込み・問い合わせ 教育総務課総務担当 ☎556-8311

小・中学校の指定学校変更について

市では小・中学校の通学区域を規則で定めていますが、次に該当するときは、保護者の申し立てにより、指定した就学校を変更することができる場合があります。

▶区域外就学(指定学校変更)許可基準

願出の種類	該当学年	許可基準	許可期限	添付書類
最終学年	小学6年生 中学3年生	最終学年途中で転居・転出し、通学上および指導上支障がない場合	卒業まで	—
学期途中	小学1～5年生 中学1～2年生	学期途中で転居・転出し、通学上および指導上支障がない場合	学期末まで	—
住宅新築および転居予定	全学年	・家屋登記、住宅ローンなどの融資手続きのため住民票のみ異動した場合 ・自宅の新築およびマンション・アパートの入居などによる転入、転居予定があり通学に支障がない場合	入居予定日まで	次のいずれか ・建築確認書 ・工事請負契約書 ・売買契約書 ・賃貸契約書
両親共働きなど留守家庭	全学年	保護者が共働きなどにより留守となる家庭で、祖父母などの家から就学する場合、その通学区	事由の存する期間	勤務証明書または営業証明書
身体的および精神的理由	全学年	身体的理由で、通学途中の安全確保のため、指定学区外の学校に就学する場合	事由の存する期間	医師の証明書
		登校拒否が客観的に予想される場合		学校長の意見書
家庭の事情により、住所異動ができない者	全学年	市内に居住していることが証明され、学区内の学校へ就学する場合	住民登録が行われるまで	賃貸契約書または民生委員・児童委員が記載した居住証明書
特別支援学級に入学する者	全学年	就学指定校に該当する特別支援学級がない場合	卒業まで	—
地域の事情	全学年	教育委員会が、指定校の変更を認めている地域(許容地域)	卒業まで	—

▶指定学校を変更することができる場合の手続き

平成31年度に入学する方は、2月20日(水)までに指定学校変更申立書を教育総務課へ提出してください。教育委員会による審査後、変更承諾書を交付します(それ以外の方は、随時受け付け)。

▶相談・申請・問い合わせ 同課総務担当 ☎556-8311

ご利用ください 就学援助費

経済的な理由により就学が困難な小・中学校児童・生徒の保護者の方に、就学費用の一部を援助しています。お困りの方は、ご相談ください。

- ▶対象
 - ・市民税が非課税の世帯
 - ・児童扶養手当(児童手当とは異なります)を受給している世帯
 - ・その他、経済的に就学援助費が必要と認められる世帯など
- ▶援助内容 学用品費、給食費、修学旅行費、医療費など
※詳細は市ホームページをご覧ください。
- ▶相談・申請・問い合わせ 各学校または教育総務課財務施設担当 ☎556-8311

ご存じですか 教育振興奨励金

市では、学校教育の他、市内で教育振興に沿った活動を行っている個人や団体の皆さんを対象に奨励金を交付しています。

- ▶申請期間 2月1日(金)～20日(水)
- ▶対象 社会教育・社会体育関係(社会教育、スポーツ活動および青少年の非行化防止活動の充実・向上のための事業)
- ▶交付限度額
個人の場合…5万円
団体の場合…20万円
- ▶申し込み・問い合わせ 教育総務課総務担当 ☎556-8311

NET119緊急通報システム 利用登録説明会を 開催します

聴覚や言語などの障がいにより音声での119番通報が困難な方が携帯電話のインターネット機能を使って119番通報できる、「NET119」を導入します。システムの説明と事前登録の受け付けを行います。

- ▶日時 1月26日(土)午後1時30分
- ▶場所 中央公民館第1学習室
- ▶対象 聴覚や言語などに障がいがあり、音声での119番通報が困難な方
- ▶その他 NET119の利用には、インターネット接続機能・Eメール機能のある携帯電話・スマートフォンが必要です。登録希望の方は当日持参してください。
- ▶申し込み 住所・氏名・連絡先を明記の上、FAXで福祉課【FAX】554-6701
- ▶問い合わせ 同課障害福祉担当(内線266)【FAX】554-6701または消防本部総務課☎550-2119【FAX】556-8151

埼玉県内市町村職員採用 情報フォーラム2019を開催します

市町村職員の仕事や魅力をPRするフォーラムを開催します。これから就職活動を始め方、公務員を志望している方、民間企業と公務員で迷っている方など多くの方の参加をお待ちしています。

- ▶日時 2月15日(金)午後0時55分～4時(午後0時30分開場)
- ▶場所 埼玉会館大ホール(さいたま市浦和区高砂3-1-4)
- ▶内容
 - 【第1部】「公務員のリアルを語る～仕事のやりがいとは～」
 - 【第2部】「市町村職員によるトークライブ～60分間ホンネトーク～」
 - 【第3部】「市町村別相談タイム～あなたの未来をナビゲート～」
- ▶定員 1,300人(先着順)
- ▶参加費 無料
- ▶その他 事前申し込み不要
- ▶問い合わせ 彩の国さいたま人づくり広域連合 ☎048-664-6681

平成30年度 第4次求人企業合同面接会

- ▶日時 1月18日(金)午後1時～4時(正午から受け付け)
- ▶場所 大宮ソニックシティビル4階市民ホール(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)
- ▶対象 平成31年3月大学・短大・専門学校等卒業予定者(3年以内の既卒者も参加可)
- ▶参加費 無料※事前申し込み不要
- ▶持ち物 履歴書(複数枚)
- ▶その他 参加企業名は埼玉県雇用対策協議会ホームページに掲載
- ▶問い合わせ 同協議会 ☎048-647-4185

納期のお知らせ(1月分)

普通徴収(納付書や口座振替で納めていただく方)
 国民健康保険税・・・7期
 後期高齢者医療保険料・・・7期
 介護保険料・・・7期

納期限 1月31日(木)

- ・市税などの納付には、「安心！確実！便利！」な口座振替をご利用ください。
- ・納付の相談は随時収納課で実施しています。

▶問い合わせ 同課収納担当(内線236・237)

各種相談 (1月15日～2月14日)

相談	場所	期日	時間	問い合わせ
法律(予約制)	産業文化会館2階会議室	1月22日(火) 2月14日(木)	※予約はその月の1日から(土・日曜日、祝日の場合は翌日) 午前9時20分～正午 午後1時40分～4時20分	地域づくり支援課(内線252)
行政機関に対する意見・要望	産業文化会館2階会議室	1月21日(月)	午後1時30分～3時30分	
消費生活多重債務	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時30分～午後3時30分	消費生活センター(内線495)
結婚	VIVAぎょうだ	2月3日(日)	午前10時～正午	NPO法人行田結婚支援センター ☎090-2416-9692
不動産	市役所	1月16日(火)	午前9時～正午	公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会北埼玉支部 ☎562-5900
相続、遺言、離婚、日常生活の困り事	忍・行田公民館	2月13日(火)※予約制	午後1時～5時(受け付けは午後4時まで)	埼玉県行政書士会埼玉支部 ☎554-2702
夫婦関係・DVなど(予約制)	VIVAぎょうだ	毎週木・土曜日 ※土曜日は市内在住の方を対象に電話相談も受け付けます。	午後1時～4時(電話相談は午後1時～2時)	VIVAぎょうだ ☎556-9301
内職	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時～午後5時	商工観光課(内線383)
人権	VIVAぎょうだ	2月13日(火)	午後1時30分～3時30分	人権推進課(内線221)
税務(予約制)	関東信越税理士会行田支部(市役所前)	毎週水曜日(祝日を除く)※予約受け付けは毎週月・水・金曜日(祝日を除く)の午前10時30分～午後3時30分	午後1時～4時	関東信越税理士会行田支部 ☎554-1411
夜間の納税相談	市役所	毎週火曜日(祝日を除く)	午後5時15分～7時	収納課(内線236・237)
水道料金の夜間納付	水道庁舎(前谷)	1月22日(火)、2月5日(火)	午後5時15分～7時	水道課 ☎553-0131

放射線量の測定値

・測定箇所 行田消防署本署地内 ・測定高 1メートル
 12月16日(日) 午前9時 0.07マイクロシーベルト(曇り) 午後3時 0.07マイクロシーベルト(曇り)

～将来、市内に自分の店を出したいと考えている方へ～ チャレンジショップ出店者を募集します

市が用意する商店街の空き店舗で一定期間出店し、経営ノウハウを習得しながら営業する「チャレンジショップ事業」の出店者を募集します。店舗賃借料は不要ですので、少ない開業資金で出店できます。出店要件については商工観光課まで問い合わせください。

- ▶募集案内配布開始 1月9日(水)
- ▶出店受付期間 1月15日(火)～2月25日(月)(土・日曜日、祝日を除く)
- ▶その他 応募多数の場合は抽選となります。受付期間内に応募が無かった場合は先着順となります。※出店者の決定に当たり、事前に申請書類の選考があります。
- ▶問い合わせ 同課商工振興担当(内線383)

冬のエコライフDAYにご参加ください

「1日環境に良いことをする日」を決めて、チェックシートを基に、省エネ・省資源など環境に配慮した生活を送るエコライフDAY。市では、参加する自治会、団体、企業を募集しています。エコライフDAYに参加して、今のライフスタイルを見直してみませんか。

- ▶参加方法 環境課または各公民館で配布しているチェックシートに記入してください。1月31日(木)までに同課に持参するか行田環境市民フォーラムの協力により各公民館に設置している回収ボックスに提出してください。
- ▶その他 参加者3人以上の自治会、団体、企業にはチェックシートを郵送しますので、ご連絡ください。
- ▶問い合わせ 同課環境政策担当 ☎556-9530

古代蓮会館展示室の再整備工事を実施します

平成13年にオープンした古代蓮会館展示室の展示設備が、経年により老朽化していることから、次のとおり再整備工事を実施します。

- 工事期間中は、作業のため館内の展示室はご利用になれません。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。
- ▶工事期間 2月4日(月)～3月15日(金)(予定)
- ▶工事内容 入口演出表示の設置、模型の修復、ふれあいシアターの更新など
- ▶問い合わせ 都市計画課公園担当(内線5603)

行田グリーンアリーナを臨時休館します

行田グリーンアリーナは、照明コントロール盤更新工事を行うため、2月13日(火)・14日(水)に臨時休館します。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

▶問い合わせ スポーツ振興課管理担当(内線5318)

第86回埼玉県駅伝競走大会に伴う交通規制を行います

2月3日(日)に第86回埼玉県駅伝競走大会が開催されます。開催に伴い、午前9時50分から10時30分まで市内を通る国道17号の交通規制を行います。なお、選手の通過時間により、規制時間が前後する場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

- ▶注意 車両の乗り入れを避け、交通規制や迂回については警察官の指示に従ってください。
- ▶問い合わせ スポーツ振興課振興担当 ☎556-8336

不用品情報(無料)

市では、資源の有効利用とごみの減量化を図るため、不用品登録制度を実施しています。この制度は紹介制で、紹介後は個人間のやり取りとなります。また、やり取りは無料で登録期間は3カ月です。
 なお、円滑な仲介事務を進めるため、不用品登録の際に写真の提供をお願いしています。写真を提供していただける方は、ご連絡ください。

さしあげます

▷カラーボックス(3段) ▷ジュニアシート ▷冷蔵庫
 ▷カラープリンタ(A3・ファクス対応可)

ゆずってください

▷大人用自転車 ▷テーブル(折りたたみ式) ▷電気ストーブ
 ▷チャイルドシート ▷ベビーカー ▷猫用キャリーケース
 ▷猫用ケージ ▷ジョイントマット▷テレビ(薄型)▷テレビ台(薄型用)
 ▷ベビーベッド▷エアコン一式(6畳用以上)

▼問い合わせ 環境課環境業務担当 ☎556-9530



保健案内

保健センター
長野2-3-17
TEL:553-0053
FAX:555-2551



健康づくりチャレンジポイント認定講座 楽しく食べて健康に！野菜&果物

もっとおいしく体に良い、健康的な野菜と果物選びのヒントを紹介します。

日時 2月7日(休)午前10時～11時30分(午前9時40分から受け付け)
場所 保健センター 2階ホール
講師 第一生命株式会社ウェルライフ開発室の専属講師
対象 市内在住の方
定員 40人(先着順)
参加費 無料
持ち物 筆記用具、健康手帳(お持ちの方)、健康づくりチャレンジポイントのリーフレット(お持ちの方)
申し込み 直接または電話で保健センター

健康づくりチャレンジポイント認定講座 出張いきいき健康塾

日時 1月24日(休)午後2時～3時30分
場所 保健センター 2階ホール
内容 ①中村 賢さん(埼玉県立循環器・呼吸器病センター心臓外科医長)による講演「意外な症状の循環器疾患」②栄養士によるミニ講話
対象 市内在住の方
定員 40人(先着順)
参加費 無料
持ち物 筆記用具、飲み物、健康手帳(お持ちの方)、健康づくりチャレンジポイントのリーフレット(お持ちの方)
主催 埼玉県立循環器・呼吸器病センター
共催 行田市
後援 行田市医師会
申し込み 直接または電話で保健センター

インフルエンザの流行期に入りました

- 次のことを実践し、インフルエンザを予防しましょう。
- ・接触感染を防ぐためにも手洗いは重要です。外出後は、こまめに手を洗いましょう
- ・マスクを着用し、できるだけ人混みを避けましょう。マスクがなくても、口と鼻をティッシュでカバーしましょう。
- ・室内は適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。
- ・バランスの良い食事や十分な休養、適度な運動など規則正しい生活をしましょう。

風しんが流行しています 風しん抗体検査を受けましょう

首都圏を中心に風しんの流行が続いています。風しんは、妊娠中(特に初期)に感染すると胎児にも感染し難聴や心疾患などを起こす危険性があります。県では、次の方を対象に無料で風しん抗体検査を実施しています。実施医療機関や申し込み方法などは県ホームページをご覧ください。

実施期間 2月28日(休)まで
対象 県内市町村に住民票がある方で、次の①または②に該当する方
①妊娠を希望する16歳以上50歳未満の女性とその配偶者(事実婚含む)
②「妊婦健診の結果、抗体価が低い(HI法で32倍未満またはEIA(IgE)法で8.0未満の抗体価)と判断した妊婦」の配偶者
ただし、次の方を除きます。
・風しん抗体検査(妊婦健診などを含む)を受けたことがある方
・風しん予防接種を受けたことがある方
・風しんにかかったことがある方
問い合わせ 県保健医療政策課感染症・新型インフルエンザ対策担当 ☎048-830-3557

子どもの健康

ママ・パパ教室(要申し込み)

日時 1月29日(火)午後1時15分～4時(午後1時から受け付け)
対象 妊婦とその家族
定員 20人(先着順)
内容 ママと赤ちゃんの栄養、沐浴実習、妊婦疑似体験など
その他 安定期に入った妊娠中後期(18週～34週)の参加をお勧めします。

赤ちゃんクラス(申し込み不要)

日時 1月21日(月)午前10時～11時30分
対象 4カ月未満のお子さんとその保護者
内容 1カ月児健診が済んでから4カ月未満のお子さんの体重測定や育児相談です。友達づくりの場としてもご利用ください。

離乳食教室(後期)(要申し込み)

日時 1月24日(休)午前10時30分～11時30分(午前10時15分から受け付け)
対象 9～11カ月のお子さんとその保護者(保護者のみの参加可)

乳幼児相談(要申し込み)

日時 2月4日(月)午前9時30分～11時30分
対象 就学前のお子さんとその保護者

乳幼児健診

健診名 4カ月児健診、離乳食(初期)教室、10カ月児相談、1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診

その他 対象者には通知します。転入されたお子さんで、前住所地で受診していない方は保健センターにご連絡ください。

※4カ月児健診は個別健診のため、市内指定医療機関で、それ以外の健診などは保健センターで行います。
※4カ月児健診の受診票は赤ちゃん訪問で配布します。

南河原支所での妊娠届出の受理および母子健康手帳の交付を終了しました

平成30年12月28日をもって、南河原支所での妊娠届出の受理および母子健康手帳の交付を終了しました。妊娠届出書は赤ちゃんコンシェルジュ(助産師)のいる保健センターへ提出してください。なお、妊娠届出書の受理は引き続き市民課でも行っています。

休日急患診療

休日や祝日の急な病気やけがのときは次の医療機関をご利用ください。

期日	医療機関名	電話番号
1月20日(日)	壮幸会行田総合病院	552-1111
1月27日(日)	清幸会行田中央総合病院	553-2000
2月3日(日)	清幸会行田中央総合病院	553-2000
2月10日(日)	壮幸会行田総合病院	552-1111
2月11日(月)	壮幸会行田総合病院	552-1111

診療時間 午前10時～午後5時

診療科目 内科、小児科、外科

※医療機関が変更されることがありますので、事前に問い合わせください。

#7119 (365日24時間対応)

病院に連れて行こうか迷ったときや受診できる医療機関を知りたいときの全国共通ダイヤルです。急な病気やけがに関して、看護師の相談員が医療機関を受診すべきかどうかなどをアドバイスしますので、判断に迷ったときは気軽にお電話ください。

※ダイヤル回線、IP電話、PHSの場合は ☎048-824-4199

※受診できる医療機関の案内は、行田市消防署 ☎550-2123も対応しています。

在宅医療窓口

◇「病気があがるが、足が不自由で通院できない」「寝たきりの家族がいて床ずれが心配」などの相談があるとき

- ・在宅医療支援センター ☎553-2060
- ・相談時間 午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

◇「歯科医院への通院が困難」「訪問歯科診療を行っている歯科医院が知りたい」などの相談があるとき

- ・在宅歯科医療推進窓口 ☎080-1391-8020
- ・相談時間 午前10時～午後3時(正午～午後1時を除く)※土・日曜日、祝日、年末年始を除く

おとなの健康

健康相談(要申し込み)

日時 1月28日(月)・2月12日(火)
※時間は申し込みの際にお知らせします。
場所 保健センター
対象 食事や運動、歯など健康に関する生活習慣について相談したい方
その他 随時、電話での相談も受け付けます。

児童保育室に勤務する放課後児童支援員・補助員を募集します

放課後児童支援員

▼雇用開始 4月1日(月)

▼勤務時間

【学校授業日】午後1時～7時

【学校休業日】午前7時30分～午後7時(シフト制による)

※月に1日程度、土曜日勤務あり

※休日は日曜日、祝日、年末年始

▼内容 市内児童保育室における児童の保育業務

▼募集要件 保育士、教諭(幼稚園・小学校・中学校)などの免許をお持ちの方

▼募集人数 2人

▼月給 14万3千円(年2回賞与あり)

▼申し込み 事前に電話連絡の上、2月19日(火)までに行田市社会福祉協議会(履歴書(写真貼付)を持参してください。

採用は面接の上、決定します。

補助員

▼雇用開始 3月27日(水)

▼勤務時間

【学校授業日】放課後～午後7時(勤務日は児童保育室により異なる)

【学校休業日】午前7時30分～午後7時(シフト制による6時間程度の勤務)

※休日は土・日曜日、祝日、年末年始

▼内容 市内児童保育室における児童の保育、放課後児童支援員の補助

▼募集要件 保育士、教諭(幼稚園・小学校・中学校)などの免許をお持ちの方、または子育て経験のある方

▼募集人数 若干名

▼時給 920円

▼申し込み 事前に電話連絡の上、3月8日(金)までに同協議会へ履歴書(写真貼付)を持参してください。採用は面接の上、決定します。

▼問い合わせ 同協議会 ☎57-5400

博学連携展示 むかしのくらし

小学3年生の学習に連動して博学連携展示「むかしのくらし」を開催します。展示では明治～昭和初期に使われた生活道具や懐かしい行田の生活を紹介します。

体験コーナーでは、お手玉やあやとり、けん玉にメンコ、昔の子供たちが遊んでいたおもちゃなどを体験できます。



- ▶ 期 間 2月2日(土)～4月7日(日)
- ▶ 会期中の休館日 2月11日を除く月曜日、2月12日(火)・22日(金)、3月22日(金)
- ▶ 開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- ▶ 場 所 郷土博物館企画展示室
- ▶ 入館料 【大人】200円【大学・高校生】100円【小・中学生】50円
※団体割引あり

解説ボランティア募集中

博学連携展示「むかしのくらし」開催期間中、郷土博物館企画展示室で、道具の使い方や昔の生活の様子を子供たちに解説してくれるボランティアを募集しています。

- ▶ 活動日 2月2日(土)～4月7日(日)のうち市内小学3年生の団体見学時(開催期間中の平日5～6日程度)
- ▶ 内 容
 - ・昔の道具の使い方や暮らしについて話してください。例えば、蚊帳の使い方、農具の使い方、昔の学校の話など自身が経験してきたことを子供たちに教えてあげてください。
 - ・昔の遊び体験コーナーで、あやとり、けん玉、ベーゴマなどの遊び方を教えてあげてください。
- ▶ 申し込み・問い合わせ 同館

▶ 問い合わせ 同館 ☎ 554-5911

中央公民館市民セミナー受講生を募集します

回	日 時	講座名	内 容	講 師
1	1月31日(日) 午前10時～11時	埼玉で開催！ 東京2020オリンピック・ パラリンピック	埼玉県はバスケットボールなどの競技会場になります。大会に向けた県の取り組みなどについて分かりやすく紹介します。	埼玉県職員
2	2月7日(日) 午前10時～11時	埼玉県の道路	県内の道路交通の現状と整備の方針などについて、事例を示しながら分かりやすく説明します。	埼玉県職員
3	2月21日(日) 午前10時～11時30分	俳壇史と行田	俳句の歴史と行田が生んだ俳人について学びます。	三澤一水さん(行田市俳句連盟会長)
4	2月28日(日) 午前10時～11時	魚のすみよい水辺の環境	荒川や利根川、忍川などが流れる行田市。その水辺に魚などが豊かにすみ環境について学びます。	埼玉県職員

- ▶ 場 所 中央公民館第2学習室※第3回は第1学習室
- ▶ 対 象 市内在住・在勤の方(原則として4回とも出席できる方)
- ▶ 定 員 40人(先着順)
- ▶ 受 講 料 無料
- ▶ 申し込み・問い合わせ 1月16日(日)午前9時から直接同館 ☎ 556-2649(電話受け付けは午後1時から)

図書館だより

開館時間 午前9時30分～午後7時
休 館 日 1月1日(火)～3日(木)・7日(月)・15日(火)・21日(月)・28日(月)・31日(木)、2月4日(月)・12日(火)
※休館中(年末年始を除く)の圖書の返却はブックポストをご利用ください。

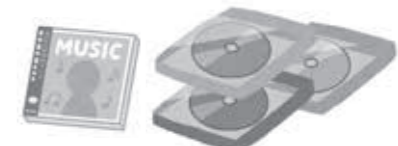
市立図書館 佐間3-24-7(「みらい」内) TEL:556-4227 FAX:555-3770

新 着 図 書

- ・働く女子と罪悪感「こうあるべき」から離れたら、もっと仕事は楽しくなる 浜田敬子/著
- ・マラソンランナーへの道 続 より速くスマートに走り続けるために 鍋倉賢治/著
- ・介護士K 久坂部羊/著
- ・昨日がなければ明日もない 宮みゆき/著
- ・ぼくの、ミギ 戸森しるこ/作、アンマサコ/絵
- ・大どろぼうジャム・パン 2 かげのない町 内田麟太郎/作、藤本ともひこ/絵

今月のおすすめのDVD・CD

- | | |
|-------------------|----------------------|
| < DVD > | < CD > |
| ・やさしいライオン | ・日本の恋と、ユーミンと。(松任谷由実) |
| ・奇跡のひと マリーとマルグリット | ・SMAP 25 YEARS(SMAP) |
| ・ハルチカ | ・ゴールド(カーペンターズ) |



定例イベント※図書館で楽しいひとときを※

イベント名	日 時	内 容	対 象	協力団体など	場 所
ボランティアによるおはなし会	1月20日(日)午後2時	絵本や紙芝居など	幼児・小学生	おしゃべりインコの会	図書館 おはなしのへや
	1月26日(土)午前11時				
	2月2日(土)午後2時				
	2月9日(土)午後2時				
たまごおはなし会	1月16日(休)、2月13日(休) 午前10時30分～11時 ※とことこタイムで実施	絵本、手遊び、パネルシアターなど	0歳～3歳児ぐらい	図書館職員	図書館 おはなしのへや
ぴよぴよおはなし会	2月3日(日) 午後3時30分	絵本、紙芝居、素話(ストーリーテリング)など	4歳児ぐらい～小学生	図書館職員	
こっこおはなし会	1月19日(土)午後3時30分	絵本の読み聞かせ、工作、折り紙など	小学生		
英語であそぼう	2月10日(日)午前11時	英語の歌遊びや絵本の読み聞かせ	幼児・小学生	ベイリー久美子さん	
子ども映画会	1月19日(土)午後2時	バッグス・バニー イタズラなウサギ		図書館職員	

図書館シネマ倶楽部	1月27日(日)午後1時30分 (午後1時10分開場)	死にゆく妻との旅路 (邦画：113分) 出演：三浦友和、石田ゆり子、西原亜希 他	大人を対象としていますが、どなたでも鑑賞できます(定員70人、先着順)	図書館職員	「みらい」 映像ホール
-----------	--------------------------------	--	-------------------------------------	-------	----------------

▼ 問い合わせ 行田県土整備事務所 ☎ 554-5211



県では、行田市街地の交通渋滞を緩和するとともに、地域間の円滑な交通を実現するため、一般国道125号行田バイパスの整備を進めてきました。このたび、行田バイパスの全線4車線化に伴い、市内の一般国道125号を一般国道・熊谷羽生線に路線名称の変更をしました。そのため、路線標識の修正作業を1月から2月にかけて実施します。作業中は片側交互通行となり、ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

国道125号の路線名が変更されました

力強い襷リレーに熱い声援

12月2日、総合公園内で第62回“浮き城のまち行田”駅伝競走大会が開催され、14部門に市内外の155チームが出場し健脚を競いました。

一人3,000メートルの5区間を継走するレースには、市外からのチームも多数参加。力強い真剣な走りに会場から、たくさんの熱い声援が送られていました。



忍城址に鷹が舞う

11月24日、忍城址で放鷹術の実演が行われました。鷹匠から鷹狩について説明があった後、鷹匠の手から放たれた鷹がもう一人の鷹匠の手に止まる「振替ふりかえ」などの技が披露されると見学者からは感嘆の声が上がっていました。また、この「振替」を体験するコーナーも設けられ、「思っていたより鷹が軽く止まる感じでした。貴重な体験ができてうれしいです」と体験者は笑顔で感想を伝えていました。



寒さも忘れるほどの楽しいイルミネーション

11月25日、古代蓮の里で点灯式が行われ、「古代蓮の里イルミネーション2018」が始まりました。

今シーズンは、古代蓮会館周辺を中心に約15万球のLED電球を使用し、蓮のオブジェや青いトンネルなどが飾られた他、古代蓮の里イルミネーションでは初となる「光の未来館」と題したプロジェクションマッピングを実施。古代蓮会館の外壁に映し出され、軽快な音楽に合わせて変化する古代蓮の四季の様子に、訪れた人々は寒さも忘れ楽しんでいました。



ずっしりとした重さに大喜び

12月1日、古代蓮会館で田んぼアート米の配布が行われました。

田植えと稲刈りに参加した延べ約1,500人に、田んぼアートの背景部分などに植えられていた「彩のかがやき」をお礼の品として配布。1袋2キログラムに袋詰めされた米を受け取った人たちは、ずっしりとしたその重さに驚きながらも喜んでいる様子で、来年も参加したいと話していました。



先輩移住者が行田の魅力伝える

11月23日、本市への移住に興味がある方を対象に、移住体験バスツアーを開催しました。

東京都や県南部から21人が参加し、忍城址や古代蓮の里など、行田ならではの観光名所を見学。その後の交流会では、実際に行田に移住した方々との意見交換が行われ、参加者からは「自然が多く暮らしやすそう」などの感想が寄せられました。



多くの人々で込み合う平成最後の酉の市

12月6日、愛宕神社周辺で行田酉の市が開催されました。

境内は、色とりどりの熊手を販売する露店が立ち並び、多くの参拝者で終始混み合っていました。平成最後となる酉の市、人々は慌ただしい年の瀬に商売繁盛や家内安全を強く願って縁起物である熊手を選んでいました。



旬の農産物を求め、大いににぎわう

12月1日、JAほくさい行田中央支店広場で第1回行田農業まつりが行われ、たくさんの人出でにぎわいました。

まつりでは行田産の農産物を使用した豚汁や赤飯が無料で振る舞われた他、行田市農業青年会議所会員らによるポン菓子作りの実演が行われ大きな爆発音が会場に響きわたると、詰め掛けた人たちからどよめきが起きていました。

また、同時開催された行田市農産物品評会には、農家が丹精込めて育てた自慢のミカンや白菜、里芋などの農産物が数多く並び、来場者らはその旬の品々を買い求めていました。





第22回手帳大賞で名言大賞を受賞

福島詩乃さん(堤根・40歳)

思わず手帳にメモしたくなる名言、あったらいいなと思っ商品企画を選定するコンテスト「手帳大賞(高橋書店主催)」。このたび、第22回手帳大賞の名言部門に2万18通の応募があり、その中で「明日また友達になる」という言葉で名言大賞を受賞したのが福島詩乃さんです。



を決定し、笑顔で布団に入った優寿さんの様子に安堵したそうです。昔から言葉で気持ちを表現することが好きで、川柳やキャッチコピーなどを考えては応募している福島さんは、手帳大賞の募集記事を目にした際、前述の優寿さんの発した言葉と勇気を思い出し「明日また友達になる」という言葉を応募。そして昨年10月、帝国ホテルで発表表彰式が行われ、見事「大賞」を受賞しました。「また」がついていることで、友達というものは心が擦れ違った後でも何度でもやり直せるという子どもの純粋な気持ちが素直に表現された、大人になってもそうでありたいと感じさせてくれる作品」という寸評に、福島さんは「私が伝えたかった言葉の内を、審査員の皆さんがちゃんと理解した上で評価してくださったと感じ、とてもうれしかったです」と振り返ります。そんな福島さんが子育てで一番大切にしているのは、子供たちと同じことを体験し、一緒に学び、同じ時間を心から楽しむこと。学校であつたことや、悩んでいることなど、子供たちと同じ目線で考え、共感し、解決していける自分を目指しているそうです。今後の目標をたずねると「遠い将来になるかもしれませんが、自身の体験を基にした児童文学やエッセーなどの投稿をしたい。私は過集中してしまうタイプなので、執筆は子育てが落ち着いたら、いつか」と照れながら語ってくれました。福島さんの経験と思いが詰まった作品が、たくさんの方の心に届く日を楽しみにしています。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

- 俳句
- 持田 岡本千寿子 美しく年を重ねて初鏡
 - 谷郷 大谷 峯生 大鍋に愛情煮込む大根汁
 - 富士見町 金井しづ子 身ほとりに影つきまとう暮の秋
 - 西新町 澤田 信一 居住まいを少し崩して二日かな
 - 城南 橋本千枝子 さびしさに馴れるほかなし冬の月
 - 持田 丸山 麟一 冬瓜のたかが一つを持って余す
 - 城西 榊原しずか しばらくは犬の意のまま小春かな
 - 谷郷 羽石 芳道 木道の足許ともす草紅葉
 - 荒木 森田 静 数え日や母に届ける吊し柿
 - 斎条 小林 英与 終活に一人悩みし日向ぼこ
 - 下中条 梶原 銃司 大利根の間に咆哮虎落笛
 - 藤原町 齋藤雄次郎 友来たり土産話とラフランス
 - 富士見町 森 節子 くれなゐの空に熟柿の色と香と
 - 持田 二瓶 弘子 赤ちゃんの匍匐前進冬座敷
 - 持田 小倉 繁三 天高し学童奉仕大臣賞
 - 谷郷 柳瀬 久 通勤の癒しとなりぬ雪の富士
 - 門井町 塚原 武夫 冬茜朱き鉄塔のみ込めり
 - 樋上 吉澤とし子 目覚しにさからう五分寒き朝
 - 谷郷 吉野 六郎 粕汁や笑顔はじけて頬染めて
 - 旭町 大川 恵子 小春日や母の胸へと歩き初む
 - (三沢 一水 監修)

はじめまして



平成30年3月生まれのお子さんを募集します

○1月4日(金)～31日(木)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線322) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。 ○応募者多数の場合は、2月4日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★平成30年1月生まれのおともだち★★★



江森 結都ちゃん(下須戸) 平成30年1月30日生まれ 父・寛文さん 母・恵美さん 「のびのび元気に育ってね」



中川 裕貴ちゃん(駒形) 平成30年1月9日生まれ 父・正則さん 母・希和さん 「いつかまたお会いしたいね!」



石川 叶翔ちゃん(佐間) 平成30年1月5日生まれ 父・辰也さん 母・彩乃さん 「いつも幸せをありがとう♡元気に育ってね!」



堀井 優衣ちゃん(桜町) 平成30年1月1日生まれ 父・良一さん 母・麻友さん 「のびのび元気に育ってね☆」



市橋 由紀乃ちゃん(持田) 平成30年1月10日生まれ 父・孝之さん 母・佳代子さん 「にいと遊ぶの大好き♡」



猪股 果穂ちゃん(富士見町) 平成30年1月24日生まれ 父・旭さん 母・未佳さん 「すくすく元気に育ってね♡」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

株式会社 高橋

確かな品質と信頼で皇后陛下のスリッパも制作



会社プロフィール

代表取締役 高橋 英樹 【事業内容】 室内履スリッパの製造・卸売り 【所在地】 谷郷1-11-7

昭和28年に創業し、時代のニーズや流行を的確に捉え、スリッパの製造、販売において高い評価を得ているのが株式会社高橋です。 同社がもとも足袋問屋でしたが、世の中の生活スタイルの変化に対応すべく昭和30年代後半にオーストラリアの室内履を参考に現会長の高橋清さんが洗えるスリッパを考案。その新商品が新聞で紹介されるとたくさんのお客様が入り、今では年間約40万から50万足を熟練の職人が手作業で製造しています。

代表取締役の高橋英樹さんは「従業員一人一人の技術力がお客様から高い評価をいただいています」と笑みを浮かべ説明してくれました。また、25年以上続くもう一つのベストセラー商品が、学校などの上履きとして女性から人気を博している「お受験スリッパ」と呼ばれるヒール付きのスリッパです。この商品は軽くて履き心地が良く古くから下駄にも使われている「桐」を高さ4・5センチメートルのヒール部分に使用したもので、履いた時にスリッパが良く見え、デザインも優れていると多くの美意識の高い女性から支持されています。そうした中、同社の取り組みが取引先から評価され、皇后陛下のスリッパの制作を行うことになり、試行錯誤を重ねた末、至高の一品を作り上げることができました。また、ビジネスチャンスの拡大を図るため、インターネット上に「スリッパ通販専門店 楽DANE工房」を開設し、同社の商品PRと名入れできる業務用スリッパなどの販売を行い企業や学校、ホテルなどからの注文が増加しているそうです。

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。 特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。

イベント

浮城シニアクラブ連合会
第7回いきいき芸能発表大会

▼日時 1月23日(水)午後0時30分〜4時 ▼場所 「みらい」文化ホール ▼内容 浮城シニアクラブ連合会会員による踊り、ダンス、カラオケ、民謡などさまざまな芸能の披露 ▼入場無料 ▼主催 浮城シニアクラブ連合会 ▼開催 同会事務局(高齢者福祉課内・内線225)

第34回行田市合唱祭

▼日時 1月20日(日)午後0時30分開演 ▼場所 「みらい」文化ホール ▼内容 行田市合唱連盟加盟団体の各合唱団による合唱発表、全体合唱「行田市歌」、「花は咲く」、連盟歌「風にのせて」 ▼入場無料 ▼主催 同連盟 ▼後援 行田市、行田市教育委員会、行田市文化団体連合会、(公財) 行田市産業・文化・スポーツいきいき財団 ▼開催 大澤☎554-4588

新春リサイタル
アルパの奏で♪

▼日時 1月19日(土)午後2時〜3時30分 ▼場所 行田協立診療所1階(本丸18-3) ▼出演 倉品真希子さん(アルパ奏者) ▼参加費 2000円(茶菓子付き) ▼開催 同診療所高橋☎556-6755

武州忍町・引札展

▼日時 1月4日(金)〜31日(木)午前9時〜午後4時 ▼場所 観光情報館ぶらっとろぎようだ ▼内容 江戸・明治・大正時代にかけて商店などの宣伝のために作られた木版刷りの広告チラシである引札。地元武州忍町の引札を中心に約20点を展示 ▼開催 栗原☎090-1535-4460

児童センター
豆まき会

▼日時 2月2日(土)午前10時30分〜11時30分 ▼場所 児童センター遊戯室 ▼内容 節分の豆まき、鬼のおめん作り、楽しいゲーム ▼定員 50人 ▼参加費 無料

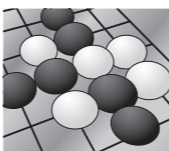


節分祭 豆まき

▼日時 2月3日(日)【1回目】午後2時30分【2回目】午後4時(雨天決行) ▼場所 行田八幡神社(行田16-23) ▼内容 豆まき、進修館高等学校ダンス部パフォーマンス、潮崎ひろのコンサート、忍城おもてなし甲冑隊やよさこいソーラン響による演舞などを実施 ▼その他 壇上から福豆をまく方を募集(参加費5千円) ▼開催 同神社社務所☎554-5926

第9回行田市
少年少女囲碁大会

▼日時 2月3日(日)午前9時〜午後4時30分 ▼場所 中央公民館 ▼内容 19路盤戦ノーハンド戦およびハンド戦(棋力認定を兼ねる)、13路盤戦(初心者対象)、プロ棋士による入門教室、プロ棋士による指導碁 ▼対象 中学生以下(入門教室は保護者も可) ※小学生以下は原則として保護者同伴のこと ▼参加無料 ▼持ち物 昼食 ▼主催 行田市教育委員会、行田市碁楽会 ▼後援 (公財) 日本棋院、特定非営利活動法人埼玉県少年少女囲碁協会 ▼開催 各学校および同館で配布している申込用紙(同館ホームページ)からダウンロード可)に必要事項を記入の上、1月25日(金)までに持参、郵送、FAXのいずれかの方法で同館。【郵送】〒361-0032 行田市佐間3-24-7 行田市中央公民館【FAX】553-5760 ▼開催 同館☎556-2649



スポーツ

第11回行田市ソフトバレー
ボール親善交流大会

▼日時 3月3日(日)午前9時 ▼場所 行田グリーンアリーナ ▼種目 【混合】 トリムA(18歳以上の男女)、トリムB(コート内合計年齢160歳以上の男女)、トリムC(コート内合計年齢200歳以上の男女)、【女子】 トリムD(18歳以上の女子)、トリムE(コート内合計年齢170歳以上の女子) ▼参加資格 18歳以上※学生を除く ▼チーム編成 1チーム5人〜8人 ▼参加費 一人2000円 ▼主催 行田市ソフトバレーボール連盟 ▼開催 同連盟事務局小久保☎090-5206-8760

第5回行田市ふれあい
ドッジビー大会

▼日時 2月23日(土)午前8時30分〜午後1時 ▼場所 行田グリーンアリーナメインアリーナ ▼内容 世代を越えて

講座・講演会・教室

小・中学生の将棋教室

▼日時 1月19日〜3月23日の毎週土曜日(全10回) 午前10時〜11時30分 ▼場所 コミュニティセンターみずしろ202号室 ▼内容 いろいろなレベルの人と対局しながら楽しく将棋を覚える ▼対象 小学1年生〜中学3年生 ▼定員 20人(定員を超えた場合は抽選) ▼受講無料 ▼持ち物 筆記用

健康講座Ⅲ

▼日時 2月8日(金)午後1時30分〜3時30分 ▼場所 コミュニティセンター南河原 ▼内容 骨密度測定、関本寿美子さん(羽生総合病院看護師長)による骨粗しょう症についての講演 ▼定員 30人 ▼参加無料 ▼主催 南河原隣保館 ▼開催 同館☎557-3334

藍染実演技術者
養成講座(2期生)

▼日時・内容 ①2月2日(土)午前10時〜午後4時、「藍染体験 サンプル作り/足袋生地地の絞り」 ②2月10日(日)午前10時〜午後4時、「基本の絞り染め」 ③2月17日(日)午前10時〜午後4時、「足袋博・日本遺産ガイドンスセンター見学/足袋生地地の染め」 ④3月2日(土)午前10時〜午後4時、「まちあるき/足袋生地地の染め」 ⑤3月16日(土)午前9時〜午後1時、「接客体験」 ▼場所 藍染体験工房牧

高齢者骨盤ストレッチ
教室(冬コース)

▼日時 2月19日〜3月19日の毎週火曜日(全5回) 午後1時30分〜3時 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」第1研修室 ▼内容 音楽に合わせて、バスタオルを使用したエクササイズや骨盤を中心としたストレッチ体操を行う ▼対象 市内在住で65歳以上の方(年度内65歳可) ▼定員 15人(定員を超えた場合は抽選) ▼参加無料 ▼持ち物 動きやすい服装、バスタオル、飲み物 ▼開催 1月10日(日)午前9時〜29日(火)午後5時に直接行田市社会福祉協議会☎557-5400

広告

広告

行田市民大学・行田市民
大同窓会 合同講演会

▼日時 1月17日(木)午後1時30分～3時30分(午後1時から受け付け)
▼場所 ものつくり
大学建設棟2階B2080教室
(前合333)
▼演題 「忍城
開城後の甲斐姫」
▼講師 三
池純正さん(歴史研究者・作
家)
▼入場無料
▼問 行田
市民大同窓会企画研修委員
会伊東 ☎090-6475-
0353



相談

子育て談話室
「たんぽぽ」

▼日時 2月4日(月)午前10時～
11時30分
▼場所 総合福祉
会館「やすらぎの里」
▼内容
子育て中の親同士で語らう、子
育てワンポイントトーク「頭髮
について」
▼対象 市内在住
で乳幼児を持つ保護者
▼定
員 30人(先着順) ※生後4カ

募 集

月以上の託児付き ▼参加費
100円 ▼主催 行田市民生
委員・児童委員連合会 ▼後援
行田市、行田市教育委員会、行
田市社会福祉協議会 ▼申・問
2月3日(日)までに電話で同協議
会 ☎557-5400

自衛官候補生

▼受付期間 随時 ▼試験日
2月1日(金)・2日(土)のうち、い
ずれか1日 ▼試験会場 朝霞
駐屯地 ▼対象 18歳以上33歳
未満の方 ▼問 防衛省自衛隊
埼玉地方協力本部熊谷地域事務
所 ☎522-4855

その他

献血

▼日時 1月21日(月)午前9時30
分～午後4時30分(午前11時45
分～午後1時を除く)
▼場所
市役所正面玄関前 ▼持ち物
献血カード(お持ちの方)
▼
問 埼玉県赤十字血液センター
☎048-720-8009

門井球場整備作業・
施設管理業務スタッフ

▼勤務日数 ローテーションに
よる週2～3日の勤務 ▼勤
務時間 【平日】午前8時30分
～午後4時 【土・日曜日、祝
日】午前6時30分～午後7時の
うち8時間 ▼業務内容 体育
施設・公園施設整備作業および
施設管理業務 ▼応募資格 健
康で、普通自動車免許を所持し
ていて土・日曜日、祝日の勤務
が可能な方 ▼募集人数 1人
▼時給 900円(試用期間あ
り) ▼選考方法 書類審査の上、
面接を実施 ▼申 1月20
日(日)午後5時までに履歴書(写
真貼付)を直接行田グリーンア
リーナ

ロウバイまつり



▼日時 1月19日(土)・20日(日)午
前9時～午後4時30分(入館受
け付けは午後4時まで)
▼場所
古代蓮会館 ▼内容 梅昆布
茶サービス。入館者各日先着50

ハンギングバスケット

▼日時 2月3日(日)午後1時～
3時 ▼場所 古代蓮会館研修
工作室 ▼内容 鉢植えを置く
スペースがない場所でも、壁を
利用し空間装飾として楽しめる
ハンギングバスケットの基本を
学び ▼講師 染谷孝子さん
(日本ハンギングバスケット協
会認定ハンギングマスター)
他 ▼対象 小学5年生以上
の方 ▼定員 30人(先着順)
▼参加費 3千500円(材料

古代蓮会館企画展Ⅳ
「古代蓮の里イルミネー
ション2018写真展」

人にロウバイ小枝をプレゼント
(一人1本) ※花の咲き状況に
より中止の場合あり ▼入館料
高校生以上400円、小・中学
生200円 ※未就学児は無料
▼期間 1月19日(土)～2月14日
(休) ※休館日を除く ▼場所 古
代蓮会館催事室 ▼内容 「古
代蓮の里イルミネーション
2018」の風景をテーマにし
た写真の展示 ▼入館料 高校
生以上400円、小・中学生
200円 ※未就学児は無料

(公財) 行田市産業・文化・
スポーツいきいき財団
... 申し込み・問い合わせ ...
産業文化会館 TEL. 556-6371 FAX. 556-6372
商工センター TEL. 553-0510 FAX. 553-2021
古代蓮会館 TEL. 559-0770 FAX. 559-0784
行田グリーンアリーナ TEL. 553-3377 FAX. 553-0487
<http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html>

「結婚応援イベント」
スイーツ好き♡男女の集い
〜お菓子づくりde縁むすび〜

▼日時 2月24日(日)午前9時
30分開始(午前9時から受け
付け)
▼場所 商工センター
▼内容 菓子づくりと試食、歓
談 ▼対象 20歳～49歳の独身
の方 ▼定員 男女各15人(先



グリアトリトレーニング室
新春お年玉
ポイントアップくじ

代・保険料) ▼申 1月16日
(水)午前9時から同館
トレニング室利用時に発券
された利用券にマスコットキャ
クターがプリントされていたら、
利用ポイントを1ポイント進呈
します。ポイントをためた方に
は無料利用券(1回分)を進呈
します。 ※新規登録者講習会を
受講した方や新規登録者を紹介
したトレーニング室登録者にも
無料利用券(1回分)を進呈
▼実施期間 1月16日(水)～31
日(日)(28日(日)は休館) ▼利用
時間 午前9時～午後9時 ※毎
月第2・第4月曜日は休館(祝
日の場合は翌日休館) ▼対象
高校生以上 ▼利用料金 【行
田市・羽生市・加須市在住の方】
500円 【3市以外に在住の方】

着順) ▼参加費 男性2千円、
女性1千500円 ※材料費・
飲み物代を含む ▼申 1月12
日(土)～2月20日(水)に電話また
はEメールで同センター【E
メール】 snoko-center@ikiiki-
zaidan.or.jp



行田グリーンアリーナ
窓口受付・施設管理業務
スタッフ

▼勤務日数 ローテーションに
よる週2～3日の勤務 ▼勤
務時間 【平日】午後5時30分
～9時30分 【土・日曜日、祝
日】午前8時30分～午後9時30
分のうち4～8時間 ▼業務内
容 窓口受付および施設管理業
務 ▼応募資格 健康で、土・
日曜日、祝日の勤務が可能な
方 ▼募集人数 3人 ▼時給
900円(試用期間あり) ▼
選考方法 書類審査の上、面接
を実施 ▼申 1月20日(日)午後
5時までに履歴書(写真貼付)
を直接行田グリーンアリーナ

「コロコロとカラダ
すっきりヨガ教室」

750円(障害者手帳提示によ
る減額制度あり) ▼その他 初
回は講習会を受講すること(窓
口または電話で前日までに予約)
▼日時 2月8日～3月15日の
毎週金曜日(全6回) 午前10時
45分～11時45分 ▼場所 総合
公園管理棟2階大会議室 ▼内
容 風邪や花粉症など、春先の
体の不調の改善に効果のある
ポーズを中心に行う(体の硬い
人や体力のない人でも参加可)
▼講師 ヨガクラブ講師 ▼対
象 18歳以上の方 ▼定員 20
人(先着順) ▼参加費 3千
円 ▼申 1月18日(金)午前9時
から行田グリーンアリーナ
産業文化会館を
臨時休館します
2月10日(日)は、設備点検のた
め全施設臨時休館となります。
商工センターを
臨時休館します
2月9日(日)・11日(月)は、全施
設定期点検のため臨時休館とな
ります。

広告

広告

黒糸威二枚胴具足

埼玉県指定文化財 忍東照宮所有

戦国時代に登場した当世具足を着用した領主や上級武士たちは、合戦場で己の存在を誇示し、活躍を周囲に見せつけるために、自らの具足に装飾性を求めていきました。大勢が入り乱れる合戦場でのアピールや、軍勢を差配する指揮官にとっては、とにかく目立つことが必要だったのです。その中で特に多様なバリエーションが生まれたのが兜です。

兜には頭部を守るヘルメットとしての役割があるため、複数の鉄板を鋲留めして作られています。その中でも、数枚から20枚ほどの鉄板を頭頂部が尖るように突き合わせた形の兜が登場しました。これを突笠形兜といいますが、今回紹介する資料はこの突笠形兜を備えた、松平下総守家初代松平忠明が大坂の陣で着用したとの伝承をもつ当世具足です。



黒糸威二枚胴具足

兜には全体に深い黒漆が塗り込まれています。両脇の角のような棒は角本といい、脇立を差し込んだものです。脇立は現存していませんが、角本の大きさからみて、長大な脇立が立てられたと思われる。胴は長さ5センチメートルほどの本小札という板をすべて朱漆で塗り、黒糸で隙間なくつなぎ合わせた朱漆塗黒糸毛引緘二枚胴です。籠手や太腿を守る佩楯、脛を守る脛当もすべて朱漆で統一されています。

(郷土博物館 鈴木紀三雄)

松平忠明は武勇をもって知られ、姫路藩主時代には將軍徳川家光から異国船が日本に侵入してきたら西国大名を指揮するようにとの命令を受けていました。実際にその機会は訪れませんでした。漆黒の兜に全身朱色に塗り込められた具足を着用した忠明の姿は、東照神君家康の血を引く大名に相応しいものだったでしょう。

また、現在県指定文化財となっている具足は、県立歴史と民俗の博物館が所蔵する黒糸威最上胴丸具足とこの具足の2領のみです。このことから、まさに埼玉県を代表する具足ともいえるでしょう。

特定非営利活動法人
にりん舎

ひきこもりや不登校の当事者とその家族に対し、社会参加に関する事業を行い自立した生活を送れるよう支援を行っているのが「特定非営利活動法人にりん舎」です。

同会は、前身の「社会参加サポートネットプランチ」が発展する形で、平成30年10月にNPO法人格を取得。ひきこもりに対する誤解や偏見が今なお根深い今日において、孤立してしまいがちな当事者が一歩でも前へ踏み出し、社会復帰できるよう10人の会員で活動しています。

当事者本人とその家族の悩み、将来の不安などに関する相談に応じる他、スポーツ活動や料理教室など、同じ境遇にある人同士が共感し、経験を共有する機会を提供しています。また、月に1回ほど、家族同士で近況や困り事などを気軽に語り合える家族会を開き、当事者と一緒に暮らす家族にできる工夫や対処方法などを一緒に考えています。

「ひきこもりは誰にでも起こり得ること。そんな彼らに手を差し伸べ、助けになるためにも、より多くの人に私たちの活動を知ってもらいたい」と語ってくれた代表の田口泰大さん。支援する人と当事者およびその家族がまさに車の両輪となり、また原動力となって、自立へ向けて力強く前進していくことでしょう。

【理事長】田口 泰大 【電話番号】080-6570-1734

つながる ひろがる
みんなのチカラ

～市民公益活動団体紹介～25



定期的に行われる集団支援(この回はフットサル)の準備をする会員の皆さん

今月の表紙

11月17日、行田グリーンアリーナ研修室で「第1回ぎょうだ郷土かるた大会」が教育委員会と青少年育成会連絡協議会の主催で行われました。

この大会には20チーム61人が出場し、小学生だけでなく保護者も参加できるとあって、家族のチームもありました。楽しみながらも真剣なまなざしで試合に臨んだ選手たちは、ボーナス得点が加算されるやく札を獲得すると歓声を上げ、チームメイトと喜びを分かち合っていました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をダイジェスト版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています